

**速報**

## 『はやぶさ』イトカワ到着、グローバルマッピングを完了 はやぶさチーム

今年の秋季講演会および特別企画一般講演会で話されたとおり，9月12日『はやぶさ』は無事ランデブーに成功した。以後，全球形状・地形・地質・組成 把握のためのグローバルマッピングを行い，11月1日に観測機器の現状とそれまでの発見をまとめた記者会見がなされた。可視撮像カメラは延べ1500枚の画像（図1）を取得し，ほぼ全球にわたる75000個の近赤外分光スペクトルと140万点以上のレーザー高度計による測距値が得られ，蛍光X線分光器も700時間の積分観測を達成している。予想外の岩塊の多さや表面の多様性に関係者は驚き，現在もリモートセンシングデータの詳細解析が続けられている。2005年11月20日『はやぶさ』は小惑星に着陸して離陸した世界最初の宇宙機となり（図2），同月26日に2回目の着地再離陸が行われた。



図1 イトカワの経度0方向北極側からみた岩塊群（Release 051101-3 ISAS/JAXA）

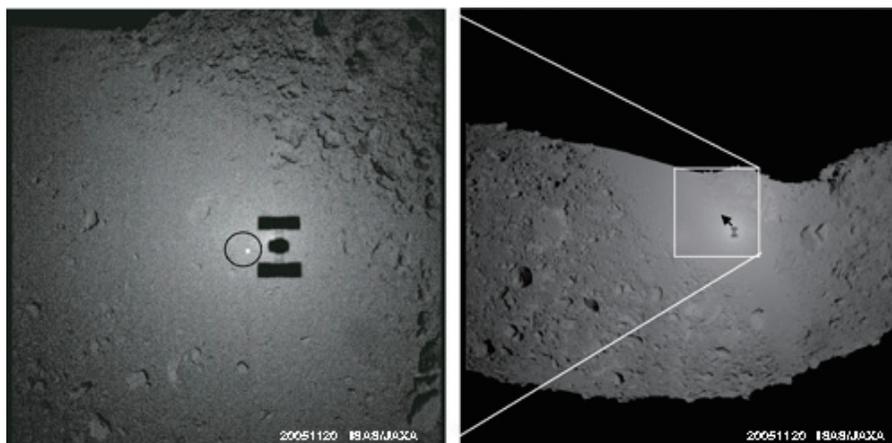


図2 「はやぶさ」自身の影と切り離された署名入りターゲットマーカ  
日本時間11月20日午前5時33分、高度32m付近（Release 20051120 ISAS/JAXA）